

カトレア

Cattleya

2017 Winter

107
平成 29 年

川内市医師会立市民病院



平成28年12月19日 除染シャワーテント取扱訓練

CONTENTS
特集 新年のあいさつ
看護部だより「ひまわり」
新人紹介／NEWS
身体に優しい健康レシピ
リレーエッセイ

基本理念

私たちは、地域の中核病院として、急性期医療を推進し、安全で信頼される医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、信頼され満足される医療を目指します。
2. 質の高い急性期医療を推進し、高次救急医療の確立を目指します。
3. 地域の医療関係機関と連携し、地域社会に貢献します。
4. 職員が互いに尊重しあう職場作りをめざし、チーム医療の充実に努めます。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 自分の病気について納得するまで十分な説明を受け、その上で検査や治療を選択すると共に医療機関を決定する権利があります。
3. 個人の情報は保護される権利があります。
4. 自分の診療内容について知る権利があります。

明けましておめでとうございます


 病院長
石部 良平

昨年を振り返ってみますと、国内外でいろんな出来事がありました。なかでも、最近の、驚くようなアメリカ大統領選挙結果は記憶に新しいことと思います。また、その前にはイギリスの国民投票によるEU離脱などもありました。一部には選挙の後に後悔している国民もいるとの報道もありますが、これらに共通するのは巷間いわれているように、反グローバルイズムであり、民主主義の台頭と思われれます。その背景には貧富の格差拡大があり、中間層の縮小があります。はつきり言ってしまうえば、自分の生活が成り立たずに世界のことなんか構ってられない人々が増えたということでしょうか。また、そうせざるをえないような生活環境になってしまった？そういう状況に対して、一昔前の日本と同じく（今も同様ですが）耳触りの良いことに傾いてゆく世論、先人が積み重ねるように築いてきたことがもどかしく、目に見えるような形で（その結果どういことが起こるかも予測せず）変革を望む人類たち、これらの人々が世の中にあふれ始めた結果のようです。何だか、第二次世界大戦前のドイツや日本の状況に酷似しているとは思いませんか？演説の上手なりーダーに引きずられて熱狂する市民の姿が、現在の状況にそっくりで重なって見えます（あくまで記録映画で見た範囲ですが）。また、全世界的に見ても、いまだに戦争が続いている多くの地域があり、それに伴う貧困、さらにはそのた

めに戦場に赴く若者たちがいます。また、世界の大国は地域の住民のことは顧みず、各々の利益と面子のために、自国外での戦闘を継続している有様です。近隣には時代遅れの国家主義を唱え、国民を貧困に追いやっていく国家指導者も現存します。まさに弱肉強食を絵にかいたようなことが、たつた今、全世界を通して進行中です。政治に疎い私さえ、今後この世界はどうなっていくのだろうか、子や孫たちにとって、この世界は果たして暮らしてゆける場所になるのだろうかと考えさせられる今日この頃です。

博愛とは何かを考えた時に、国語辞典によれば、人種、国家、階級、宗教などにかかわらず平等に愛することというのが定義だそうです。今、私の手元に何年が前の新聞の切り抜きがあります。記憶に残っている方もおありかと思いますが、ある駅の構内で、プラットホームから線路に落ちた人を救うためにとつさに飛び降り、命を亡くした日本人と韓国青年の話です。二人とも、場所が外国であるとか日本であるとか、また相手が同邦人であるとか異邦人であるとかなど考える間もなく、躊躇せずに線路に飛び降りた。彼らの行動を思う時、感動を覚えずにはいられません。それはそのまま彼らの生き様であり、また育った環境、またご両親の教育そのものであると思うからです。そこには塵ほどの打算も策略もありません。最近、思わず失言してしまう政治家が多いようですが、そのことと裏返しの関係になります。彼らの爪の垢でも煎じて飲むべきだと思います。やはり、常日頃このようにありたいと願いつつ生きていく人はいざという時に、そのありようが出てくるものだと思います。わざとらしさのない、真からの博愛精神が今全世界に求められているのではないのでしょうか。

病院の業務というものは、複雑で、煩雑で、多忙で、その上に危険極まりないものと思います。その上、厳しい経済状況、医療監視などが

3月



3日 ちゅうりつぐ園 ひな祭り
第4週 MRI装置の機器更新
23日 ちゅうりつぐ園 お別れ会
26日 ちゅうりつぐ園 第22回卒園式
30日 防災訓練

2月



3日 ちゅうりつぐ園 豆まき
18日 医療安全研修会
「医療事故調査制度について」
副院長 田實謙一郎医師
第3週 職場体験（川内中央中学校）

1月



4日 仕事始め式
10日 いぶすき菜の花マラソン参加

この医療環境を取り巻く昨今、書類、手続き、委員会活動等々考えるだけでもうんざりするような仕事が増えつつあります。当院のように職員が400人超えという大所帯ともなれば、様々な考え方の人間が集まっているのが当然です。しかしながら、この同じ職場に集ったからには、この地域に貢献したい、患者という弱い立場にある人々に安心感を持ってもらいたいとの思いは、多少の違いはあれ、各々が胸に秘めているものと信じます。自分の身を犠牲にしてまでとは言いませんが、せめてあの二人の男性のような博愛精神に思いを馳せつつ、各自の業務に誇りを持って取り組んでいってほしいと願います。もちろん、人は霞を食べて生きてゆけるものではないです。病院組織として同じことです。病院組織に赤字が続けば、やがては経営縮小に追い込まれるでしょうし、ひいてはその結果、地域住民の不利となりえます。また、病院職員の気持ちも経営優先主義に陥り、精神的に余裕もなくなってしまうと思います。そうなる病院そのものの意義が問われかねず、破綻を招いてしまうことは必定です。

病院は第3次産業、すなわちサービス業に位置付けられています。ただし、いかにも述べましたように、病院の仕事はマイナスをゼロに戻す仕事です。患者さんは決して病気になる以前より健康になることはあり得ません。他のサービス業とは異なり、その施設を訪れる前より利益を得ることはないのです。ただ、精神的に満足することにより、何か得して帰ったという気持ちにはなっていないことは可能です。そのためにはやはり、入院中に安心して、心の安寧を保つ生活を送っていただくこと、また職員や同室の患者さんなどと信頼関係を構築していただき、友人関係を増やして頂くことなどが大きなポイントになるだろうと思います。新入院患者さんを多く増やし、病院の経営を安定して続けてゆくなどということは、反面、不健康な世の中を願っているような後ろめたい気持ちにな

らないでもありません(笑)、現実には願っても願わなくても厳として病気の存在というものは認めざるを得ないものであり、高齢化とともにますます増加の一途をたどっています。そうであるならば、そういうマイナスの環境に陥った人々に対して、老若男女の分け隔てなく、できるだけの援助をさせて頂くことが、また博愛の精神にもつながるのではないのでしょうか。

昨年、11月より緒方看護部長が退任され、代わりに久々湊看護部長に当院へ赴任していただきました。緒方看護部長のこれまでの業績に感謝しつつ、久々湊部長には今後さらに病院の発展に寄与して頂ければと願うばかりです。世の中の変遷とともに、病院もますます改革をしていかなければと思う今日この頃です。しかしながら、目指すところはただ一つ常に患者さんのために考えてゆける病院でありたいということです。つまり今はやりの言葉でいうと「患者ファースト」ということでしょうか。ただし、勘違いして頂きたくないのは、ある特定の患者ファーストではないということです。それこそ、博愛の精神にのっとり、すべての患者さんに平等に温かく接することが大切です。そのためには、他の患者さんに迷惑をおかけするような方に対しては、病院としては毅然とした態度で臨むこともまた肝要なことだと思います。病院は患者さんを治すばかりが仕事ではありません。たとえ不幸にしてお亡くなりになったとしても、川内市民病院で亡くなったよかったですと頂けるような病院づくりをしてゆきたいものです。そして、患者さんが満足することはすなわち病院職員の方々の幸せであり、そういう意味で職員の方々が充実した人生が送れるよう、病院としては全力で応援してゆく覚悟です。本年もできる限りお力添え頂き、地域への奉仕のため尽力されることを何卒よろしくお願いいたします。

この病院を発展させ、将来ともに地域に貢献してゆく姿にしてゆくのはあなた方です!!

6月



- 4・5日 新人職員宿泊研修
- 9日 感染対策研修会
「感染対策の重要性について考えよう!」
感染管理認定看護師 中野智子
- 10日 経営計画発表会
- 12日 がん関連委員会研修会
「スピリチュアルA研修」

5月



- 13日 タオル帽子制作
- 13日 経営計画発表会
- 24日 感染対策研修会
- 28日 ちゅうりつ公園 春の遠足

4月



- 1日 開院記念式典
- 1日 新人集合研修
- 11日 患者送迎バス運行開始
- 15日 第27回市民病院学術発表会
- 17日 集団献血「愛の献血」

新年のあいさつ



看護部長

久々湊 智予

2017年新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

今年の干支は「酉年」。酉年の「にわとり」は、明け方に鳴く鳥です。夜が明けたら「こけこつこ」というのもアニメによくあるシーンです。新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。さらに商売関係に縁起のよい干支とされています。「とり」と「こむ」で、商売につながるとされています。行動力があり、積極的。親切で世話好きであるという意味もあるそうです。酉年にあやかり、大きく羽ばたける年でありたいものです。

2014年から3年連続で日本人がノーベル賞を受賞しています。昨年のノーベル生理学・医学賞は東京工業大学の大隅良典栄誉教授が「オートファジー(自食作用)の分子基盤を世界で初めて発見」して受賞されました。オートファジーはここ数年、生命科学分野で大きな注目を集めてきました。生物の体内では、古くなった細胞や外部から侵入した細菌などを食べるお掃除細胞、マクロファージがよく知られていま

すが、人体に数十兆個あるといわれる細胞ひとつひとつの中でも、古くなったたんぱく質や異物などのごみを集めて分解し、分解してできたアミノ酸を新たな、たんぱく質合成に使うリサイクルシステムが働いています。このリサイクルシステムのうち分解にかかわる重要な機能がオートファジーです。オートファジーはアルツハイマー病やパーキンソン病、がんなどの病気に関わることが分かり、治療への応用が期待されています。アルツハイマー型認知症は、認知症の中で最も多く全体の50%を占め、さらに他の認知症の患者数は横ばいに対してアルツハイマー型は増加の一途をたどっています。水島昇東京大学助教授によると、人為的にオートファジーを活性化させることができれば治療に役立つとみられ、動物実験では効果があつたとの報告もあつたそうです。超高齢社会の到来を受けて、医療には「Cure」から「Care」へ変化、疾病を治す時代から疾病とともに生きる時代への変化が求められています。このように医療や社会の変化は目覚ましいものがあることを改めて感じました。そのような中で、地域の中核病院として必要とされる医療を見極め、病院をあげて使命を果たさなければならぬこと、先を見据えた医療経営が必要であることを考えながら「鳥の目」で多くの課題に取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願い申し上げます。

9月



- 2日 「災害医療：医療支援の受け入れ方」
山田康雄先生
- 10日 第4回市民公開講座
- 16日 第23回北薩がん医療ネットワーク開催
- 17日 ちゅうりつ園 運動会
- 21日 川内大綱引き参加

8月



- 10日 NST委員会講演会
- 第4週 職場体験(れいめい中学校)
- 19日 三反園県知事視察
- 26日 がん関連委員会研修会
「症状緩和・疼痛・呼吸困難」について
薬剤部 柿元郁代、福留るみ

7月



- 2日 ちゅうりつ園 セタまつり
- 6日 ストレスチェック研修会
- 21日 永利小学校見学
- 22日 がん関連委員会講演会
「診療連携(私の手帳)・社会資源」について
緩和ケア認定看護師 松若元子

跳んでみよう、飛んでいこう。



事務部長

米山 光明

新春のお慶びを申し上げます。和やかに、一家団らん正月を迎えられたことと存じます。昨年は、給食・清掃の委託業者を変更致しました。いずれも現状をより良くするための動きで、栄養管理部の皆さんには大変、労力・心労をお掛け致しました。また、清掃関係は、全職員へご迷惑を掛けた感じで思うように改善できず29年度の課題となりました。外に目を向けると、奄美大島への初雪、大相撲琴奨菊の初優勝と想定外からのスタートでしたが、早々にまさかの熊本地震が発生し、慌ただしく前半が過ぎていきました。中盤は東京都小池知事の誕生による豊洲移転・オリンピック会場問題、オバマ大統領の広島慰問、終盤にはトランプ氏の大統領決定、プーチン大統領山口会談など、色んな動きのあった一年でありました。医療関係でも地域の医療構想も終盤を迎え地域の医療を守るべく、将来あるべき医療提供体制の構築が概ね固まったようであります。但し病院経営は、28年度診療報酬改定でさらに経営面への影響が厳しく、肌で感じるほどになってきております。整形外科のプラス要因がなかったらと、考えると恐ろしい程です。今のご時世、病院経営を守るため

に何をすべきか、目前に迫る2025年という難局を乗り越えるために地域の中核病院として、地域を支え・医療を支え・患者を支える事を念頭にして行動する事が揺るぎない最も優先すべき事と考えます。病院経営、職員の事は、日々の繰り返し積み重ねの中に、少しの前進きな行動が生まれると、それが大きな力になる可能性に繋がると思います。日々の繰り返しは、2025年の山に向って長いようであり短いのだと思います。少しの前進きな行動を、450人の職員がそれぞれ実施することで、計り知れない効果を産むこととなります。それが、病院が目指す「地域から選ばれるベストホピスタル」に近づくのではないのでしょうか。予防医学への注力・地域包括システム等により、当院も難局を迎えていきますが、経営面では如何に効率化を推進できるか、そして環境変化にいち早く気付き、対応する事が肝要です。皆さんで色んな情報を共有しましょう。そのための院内代表者会議の新設でもあります。昨年は栄養管理部の結婚式に参加致しました。事務部関係では、少し鳴りを潜めておりますが、今年は、数件ありそうな予感、楽しみです。苦楽を共にする。そんな職場環境から力が湧いてくると思います。酉年は、9番目の干支である申(さる)と11番目の干支である戌(いぬ)との喧嘩を仲裁する為に、猿と犬の間である10番目の干支になったと言われているようです。チームという翼を大きく広げて優雅に飛んで行く。そんな強固な経営体質を今一度全職員で取り組んで行きましょう。そんな一年にしたいと思っております。

12月



- 第2週 職場体験 (川内南中学校)
9日 「マイナンバー制度のおさらい」
領家将公先生
12日 クリスマスコンサート
13日 「輸血検査について」 小松尾麻衣先生
17日 ちゅうりっぷ園 第24回生活発表会
29日 仕事納め式

11月



- 2日 「医療安全と薬」 古川裕之先生
6日 薩摩川内市はんや祭り参加
11日 職員バレー大会
第2週 職場体験 (川内商工高校)
18日 倫理委員会研修会
「医の倫理」
放射線科部長 三木徹生医師
21日 「血液培養ベストプラクティス」
吉田武史先生

10月



- 7日 防災訓練
12日 第28回市民病院学術発表会
15日 第5回鶴島アクアスロン参加
17日 経営計画中間発表会
28日 「医療者向け糖尿病勉強会」
林孝史先生

新人看護師患者入院体験

恒例、新人看護師の「患者入院体験」研修を行いました。患者になりきって先輩看護師からアナムネーゼの聴取や入院オリエンテーション、看護ケアを実際に受け、患者の立場や看護倫理・看護観について様々なことを感じ、考える機会となったようです。

4階東病棟 西村 弥生

今回の患者体験で私は右半身の麻痺設定でした。利き手が使えず、食事を摂る事も歯を磨くこともとても苦労しました。また一人でトイレへ行けず車椅子介助で行かなくてはいけないこともあり、申し訳なくなかなか言えませんでした。今回患者体験を通して患者が日頃どんなに不便な思いをしているかとてもよく分かりました。その反面申し訳なさでナースコールを使用することをためらう気持ちも分かったので、今後はこちらから積極的に声かけを行っていきたいと思います。



3階東病棟 宇都 一真

回復リハビリ病棟に右膝損傷の為ニースプリントを装着した整形外科の患者設定でした。担当をしてくださった先輩看護師さんは、アナムネーゼをとる際、視線を合わせた姿勢で会話をしてくださいました。自分の行動を振り返ると立ったまま会話をすることがあるので、今後視線を合わせた会話や対応を実践していきたいと思います。また移動の際は松葉杖が必要で、トイレに行くにも一苦労でした。



私は一日だけの患者体験でしたが、患者さんは不自由な入院生活を送っていることを実感し、ほんの少しの配慮や声かけで患者は安心や安全を得られるのだと感じることができた体験でした。この気持ちを忘れず看護に活かしていきたいと思います。

看護部だより「ひまわり」

Vol. 45
より

院内研修報告 看護部教育講演会 臨床倫理 「日常における倫理的視点とその対応」 講師：松元和代先生

3階東病棟 上城 美圭

霧島医療センターより、緩和ケア認定看護師松元和代先生をお招きして「日常ケアにおける「倫理的」ジレンマ」をテーマに2時間程度の講演をしていただきました。新人看護師から師長まで幅広い看護師が約60名参加、院外からも3名の参加がありました。講演の中でお話を下さった、臨床倫理4分割法を用いたグループ学習は、「実際に使えそう」「終末期の患者の意向に寄り添えそう」「緩和ケアカンファに使いたい」など前向きな意見が聞かれ、2時間ではすべて理解出来ず、学び足りなかった等の意見もありました。今回、研修に参加された方は学び多い研修になったのではないかと思います。



CT 装置更新のお知らせ

当院では4月よりCT装置を現在の1台体制より2台体制(GE社製 Revolution CT 256列、Revolution ACT 16列)へと増設します。装置の更新により、低被ばく・造影剤量低減、高画質かつ短時間での検査が可能となるだけでなく、デュアルエネルギー等の新しい技術を用いて、これまで良質な画像提供が困難であった症例にも、より診断価値の高い画像をご提供できるものと考えております。

詳細につきましては稼働後、本誌にてお知らせいたします。

看護部だより ひまわり

Vol.45



ミニナラティブ

4階東病棟 看護師 石原未希

肺がんで化学療法をされている患者とその家族のお話をします。その患者は化学療法目的で病棟に数回入院経験のある方でした。Aさんはもともと、てきぱきとした性格であり、私は検温や点滴をするだけでも緊張していたのを覚えています。月日がたち肺がんが進行するにつれて、脳転移が見つかり意思疎通を図ることも難しくなり、浮腫なども出現しボディイメージが大きく変化してきました。状態が変化するとともに旦那さんの面会時間も長くなってきました。旦那さんは口数も少なくいつも表情が硬い印象があり苦手だなと感じていましたが、ある日訪室するとA氏と笑顔で接している旦那さんの姿がありました。話を聞いてみると「今日は昼からずっと目を開けているから、話をしていました。」と笑顔で話してくださいました。旦那さんの笑顔をみて、Aさんの状態が変わっていきつらい思いをして色んなことを1人で抱え込んでいたのではないかと思います。当たり前の事ですが、患者1人1人に大切に思ってくれている家族がいることを思い知らされました。この体験を通して改めて、患者・家族の思いを聞き、尊重して看護を提供できるようにしていきたいです。

※ナラティブとは・・・「narrative」物語、叙述すること

新人紹介

新人さん
いらっしゃ〜い

10月～12月までに
私達の仲間となったスタッフを
ご紹介いたします。
どうぞよろしくお願いします



久々湊 智予
看護部
看護部長

皆さま始めまして。11月1日より看護部長として就任いたしました久々湊智予（くくみなとともよ）です。生まれも育ちも埼玉県です。看護師経験は40年余りそのうち看護部長として15年です。都立の看護学校を卒業後、就職先は東京が主でした。この鹿児島県へは今回も学校訪問や卒業式、面接等と来ておりました。埼玉から鹿児島とだいぶ距離はありますが思い切ってこれも何かの縁と思い決断いたしました。川内市医師会立市民病院の果たす役割を念頭に置き、地域住民から信頼される看護部を目指し発展させていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



尾上 博隆
薬剤部
薬剤師

10月より入職させて頂きました。最初は、ご迷惑をかけることも多いと思いますが、出来るだけ早く職場の環境と仕事に慣れて、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



末吉 宣仁
回復リハビリ病棟
看護師

11月より、回復リハビリ病棟に看護師として入職致しました。以前は老人保健施設に勤めており、病院での業務は初めてで迷惑をおかけすること多いと思ひますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



野下 沙也加
3階西病棟
看護師

11月より、3階西病棟にて看護師として入職させて頂きました。分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることありますが、1日でも早く仕事を覚えられよう頑張りたいと思ひます。宜しくお願いします。



長山 祥子
回復リハビリ病棟
看護師

12月より入職させて頂きました。分からない事が多く、ご迷惑をおかけしますが、1日でも早く仕事を覚えて頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願いいたします。



田畑 恵理加
医師サポート室
医師事務作業補助者

12月より医師事務作業補助者として入職致しました。全くの未経験なので皆様にご迷惑をおかけする事もあるかと思ひますが早く業務を覚えてお役に立てよう頑張りますので宜しくお願い致します。



第28回市民病院学術発表会



10月12日(水)、第28回市民病院学術発表会が院内に於いて開催され、看護部、薬剤部、診療支援部、診療部より5題と特別講演1題の計6題発表が行われました。質疑応答も含め約1時間半の充実した発表会に147名の参加者がありました。演題は以下の通りです。

演題一覧(発表順)

1. 看護部
「訪問看護師へ医療用麻薬のアンケート調査」
2. 薬剤部・ICT 部会
「職員への抗インフルエンザ薬予防投与に関する実態調査」
3. 診療支援部 地域医療連携室
「循環器内科での退院支援の取組みとMSWの今後の展望」
4. 診療部 整形外科
「当院における最小侵襲脊椎安定術」(Mistの紹介)
5. 診療部 放射線科
「緊急IVRの有用性と限界～TAE and / or 外科手術」
6. 特別講演 看護部
「重症度、医療・看護必要度の評価のあり方～院内における評価の多職種協働の必要性～」

防災訓練



10月7日(金)14:00より防災訓練を実施し、今回は夜間に2階中央材料室より出火したという想定で行いました。全館非常ベルにより、現場を確認した警備員より連絡を受けた事務当直者が、消防署への通報と非常放送を行う訓練や、4階西病棟から入院患者を誘導する避難訓練を行いました。また訓練用の水消火器を使用して、消火器の操作確認と初期消火の訓練も行いました。

NEWS

Sendai Medical
Association Hospital
October - December



今月のスマイル

職場体験



11月9日(水)～11日(金)の3日間、川内商工高校2年生女子2名男子1名が当院で職場体験をしました。患者さんへの配膳・下膳の体験や保育所での保育体験、リハビリテーション療法の見学など、当院各部署での職場体験を通して職業観を養う機会になったのではないかと思います。

愛の献血



11月8日(火)当院正面玄関前において日本赤十字社の献血バスによる集団献血があり、近隣施設や当院の職員など22名が献血を行いました。献血で得られた血液は手術や治療などに使用されます。次回はさらに献血者が増えるよう職員に働きかけたいと思います。

第5回甕島アクアスロン



10月15日(土)、第5回甕島アクアスロンが開催され、当院からも職員が参加しました。大会は天気のすぐれない中進行し、参加したリレーコースはスイム1km、ラン13km(①7km、②6km)を3人で競い合いました。島民の方々の「がんばれ」という声援を糧にして、アップダウンの激しいコースでも足を止めず全チームがゴールできました。当院職員の結果は17チーム中3位。チームとして参加した大会の中で町民総出の応援があり、選手達は参加者であるにも関わらず町民と一緒に大会を盛り上げるサポーターになっていました。

個人情報保護研修会



12月9日(金)、個人情報保護必須研修会が行われました。今回の研修は、特定社会保険労務士の領家将公先生をお招きして「マイナンバー制度のおさらい」というテーマでお話いただきました。マイナンバー制度が始まって約1年が経過し、何が変わったのか、いまひとつ把握しきれていない人が多いなか、今後どうすればいいのか理解できたのではないかと思います。

職場体験



12月6日(火)～8日(木)の3日間、川内南中学校2年生女子2名が当院で職場体験をしました。入院中の患者さんへの配膳・下膳の体験や保育所での保育体験、リハビリテーション療法の見学など体験してもらいました。各部署での体験を通して職業観を養う機会にしてもらい、このように爽やかな生徒たちが将来、医療・福祉職で活躍されることを期待しているところです。

職員バレー大会



11月11日(金)川内アリーナにて職員バレーボール大会を開催しました。およそ170名の職員が参加するなか8部署で競い合い、初戦から決勝戦まで熱戦が繰り広げられましたが、見事4階東病棟チームが優勝しました。

優勝 ▶ 4階東病棟
準優勝 ▶ 外来
3位 ▶ 事務部

行事食(お寿司、クリスマス)



12月の行事食は、1日にお寿司、24日にはクリスマスメニューを提供しました。入院中でも季節や行事を味わっていただけような食事提供をしています。患者様は、当院栄養管理部が心を込めて用意した華やかな料理に、楽しいひとときを過ごされた様子でした。

ちゅうりっぷ園生活発表会



12月17日(土)薩摩川内市総合福祉会館にて、園児64名による第24回ちゅうりっぷ園生活発表会が行われました。毎年園児たちは、この生活発表会の練習を通して物事への取り組み方を、身をもって体験し身に付けていきます。今回もステージでは、園児たちが毎日練習を重ねてきた歌や踊り、合奏や劇など披露しました。保護者の方をはじめ会場の方々は、園児たちの一生懸命な姿に感動し、やり遂げたあとの笑顔に胸がいっぱいになったことと思います。

クリスマスコンサート



12月12日(月)リハビリセンターにて毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。当院保育所園児たちのダンスや永利小学校金管バンドの演奏に、患者さんを含めた来場の方々が拍手喝采を送り、大盛況のうちにコンサートは終了しました。プログラムは以下のとおりです。

- ①がん関連委員会メンバー
ハンドベル
- ②ちゅうりっぷ園
園児たちのダンス
- ③永利小学校金管バンド
スウィートキッズ演奏

第35回

身体に優しい健康レシピ



餅チヂミ

エネルギー：404kcal、たんぱく質：16.1g、脂質：7.1g、食塩：0.8g

作り方

- ① 餅と豚肉は小さめの角切りにする。もやしはざく切り、ニラは2cm、人参は長さ2cm程度の細切りにする。
- ② ボールに生地材料を入れて混ぜる。
- ③ 生地に餅・豚肉・もやし・ニラ・人参を入れ、よく混ぜる。
- ④ フライパンにごま油をひき、熱してから③を流し込む。
- ⑤ ふたをして中火で蒸し焼きにする。
- ⑥ 焼き色が付いたらひっくり返して反対側を焼く。
- ⑦ 一口大の大きさに切り、好みのタレをつけて食べる。



材料(1人分)

切り餅…………… 1切れ
豚肉(今回はもも肉) … 30g
もやし… 30g (1/10袋)
ニラ … 10g (1/10束)
人参 …… 10g (1/6本)
●生地
小麦粉 … 40g (1/3カップ)
片栗粉 …… 10g (大さじ1)
卵 …………… 1/2個
顆粒だし … 小さじ1/4
水 …………… 1/4カップ
塩・こしょう …… 少々
ごま油 …………… 適量

●日本の行事食・お餅

餅は正月に食べるイメージがありますが、もともとは祭りや農作業の節目、結婚式などいろいろな行事に欠かせないものでした。

餅の材料である米の主要成分は炭水化物で70～75%ほど含まれています。米は炭水化物であるデンプンが主体です。しかし餅を作るために使用するもち米と一般的に御飯として使用するうるち米では、デンプンの構成に違いがあります。アミロース約20%とアミロペクチン約80%から構成されるうるち米に比べ、もち米はほとんどがアミロペクチンからできています。これがもち米のもちもちとした食感につながっています。アミロペクチンは吸収がよく、少量で効率よくエネルギー補給ができます。粘りがあるので分解には時間がかかり、これが腹持ちのよさの理由です。

今回はおかずにもちょっとしたおやつにもなるチヂミに餅を入れてみました。人参やニラで彩りをよくし、もやしを入れることで餅とは別の食感を足しました。もちもちとした餅の食感ともやしのシャキシャキ感が楽しめる料理です。いつもと少し違う餅料理をお楽しみください。 栄養管理部 加藤 恵理

リレーエッセイ

「アルバイト」

医療技術部
放射線技師

小川聖矢

私は学生の頃、文房具店でアルバイトをしていました。業務内容は品出し、レジ打ち、ラッピングなど様々ですが、一番苦労したのは接客でした。接客は他の業務とは異なり細かな決まりごとではなく、その場で考えて行動しなければなりません。接客に苦手意識をもっていた私はなるべくお客さんと関わらないように仕事をしていました。しかし、このままではいけないと思い、社員の方に接客の方法を尋ねると「相手が何を望んでいるのかを考えて行動するだけ。すべてはおもいやりだよ」と教えて頂きました。正直、その時はどのような意味なのか理解できませんでした。そのアドバイスをいただいた後、いままで社員の方に任せていた商品の説明も自分で少しずつ対応し、お客さんがいまだのような商品を必要としているのかを考えるよう心がけました。そして、いつしか接客に対する苦手意識がなくなり、お客さんより感謝のお言葉を頂けることに喜びを感じるようになりました。

これからは今までの経験を活かして、患者さんの気持ちに寄り添うことができる放射線技師になりたいです。